様式１

| 達成度 |
| --- |
| ５　目標を完全に達成した。 |
| ４　目標を概ね達成した。 |
| ３　目標を一部達成した。 |
| ２　目標をほとんど達成できなかった。 |
| １　目標をまったく達成できなかった。 |

# プリミエール酒々井の目標（平成２０年度）自己評価書

プリミエール酒々井館長　松井　豊

| 個別事業とその目標 | 達成度 | 目標達成の効果又は<br>達成できなかった理由等 |
| --- | --- | --- |
| **１　施設の維持管理の健全化（管理班）**<br>本施設は、新設から５年が経過しようとしておりますが、既に設備等の補修を要する箇所が見受けられるため、適切な改善を図るとともに、来館者が安心して利用できる施設の維持に努めます。 | ３ | 軽微な補修等については、予算内（修繕料）での外部発注や職員による補修で対応したものの、大規模なオーバーホール等を必要とする部分については、専門的な技術と高額な費用が必要なため見送りとなっている。 |
| **２　文化ホール等の利用増進（管理班）**<br>各種イベント等におけるサービスの向上に努め、諸室等の貸し出しについても有効利用が図れるよう配慮します。 | ４ | 年度当初にホールスタッフが変わり不慣れな面等があったが、現在では利用者からも支持をいただけるようになった。また、諸室等の利用についても、夜間利用等の希望者など幅広い利用に対応した。 |
| **３　図書館サービスの推進（図書班）**<br>多目的な情報をより幅広く提供できるよう努めます。<br>また、開館時間延長の試行を継続しつつ、運営経費等を踏まえた有効かつサービスに配慮した運営に努めます。 | ３ | 利用者からのリクエストや情報提供には、限られた財源で幅広い要求に応えなければならないため、満足していただけない部分もあったと思われる。また、開館延長については１年のみでは結論に至らないため、継続して多様な取り組みを検討することとした。 |
| **４　読書活動の推進（図書班）**<br>次代を担う子供たちが読書に対する興味を持てるよう、お話し会や各種教室などの場を提供するとともに、学校図書館との連携など館外での読書活動も推進していきます。 | ４ | お話し会や各種教室を開催し、子供たちへの読書に対する興味を育むことができ、また、学校での読書活動や学校図書館支援センター事業（学校教育課）など連携した活動も推進することができた。 |

| | | |
|---|---|---|
| 5　チャレンジ目標<br>　（図書館サービスの向上）<br>　毎週金曜日の開館延長と毎朝の開館時間の繰上げを試行し、コストとサービスの比較検討を行い、今後の運営方針を検討します。 | 4 | 朝の開館時間については混乱なく運営することができた。<br>また、開館時間の延長については安全面や人員配置などの問題もあるが、次年度以降も異なったスタイルで試行することとした。なお、コスト面については、人件費を除いては日照時間の短い冬期には照明や暖房経費などが必要となり、さらに子供たちの帰宅時の安全面等から、運営委員会等の意見を受け冬期における延長は好ましくないものと判断した。 |